2026年度　第2四半期
（2026年9月期）決算の概要

福島銀行

（2026年11月12日）

数字は原則として単体ベース、単位未満切捨て

目次

福島銀行

1. 決算トピックス ・・・・・・・ 2

2. 決算の概要 ・・・・・・・・ 6

3. SHINふくぎん 中期経営計画 ・・・・・・・ 13

4. SBIとの連携 ・・・・・・・・ 28

5. 地域を元気にする取組み ・・・・・・・・ 31

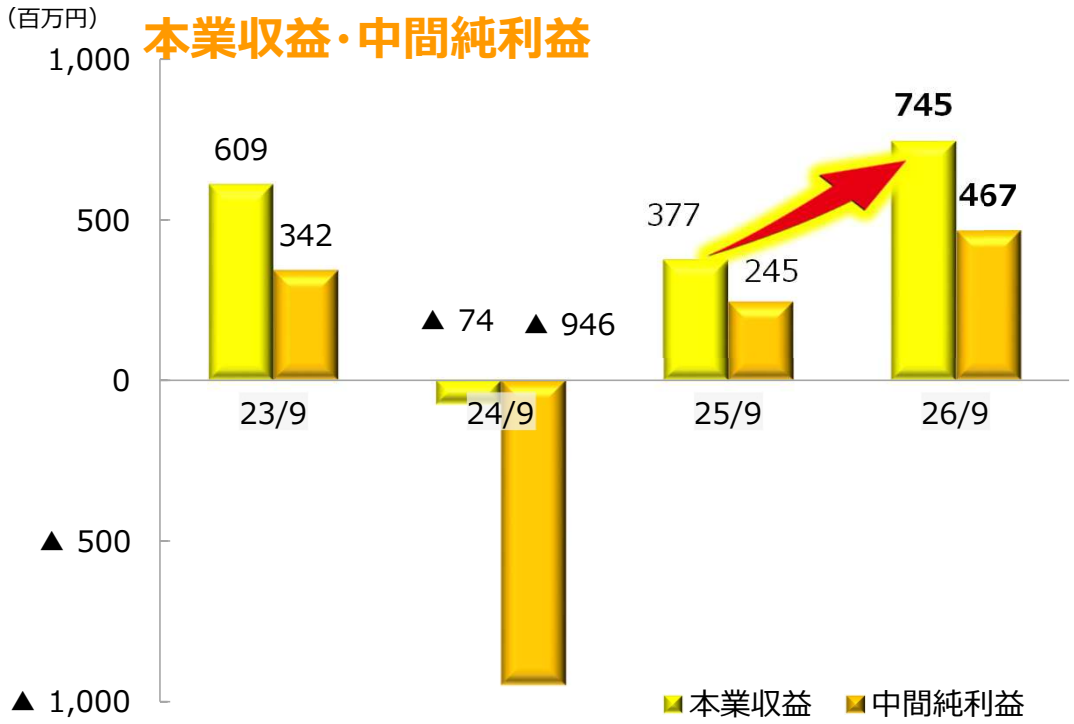
6. 当行のプロフィール ・・・・・・・・ 36

【無断転載禁止】

1. 決算トピックス

1.決算トピックス（本業収益・中間純利益）

福島銀行



2026年9月期は増収増益

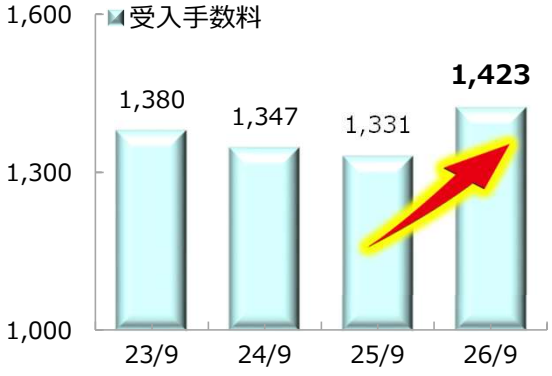
本業収益・中間純利益は過去10年において最高益！

○ 地元企業に対する融資残高等の増加、および金利上昇により、貸出金利息が増加
預かり資産営業により受入手数料も増加

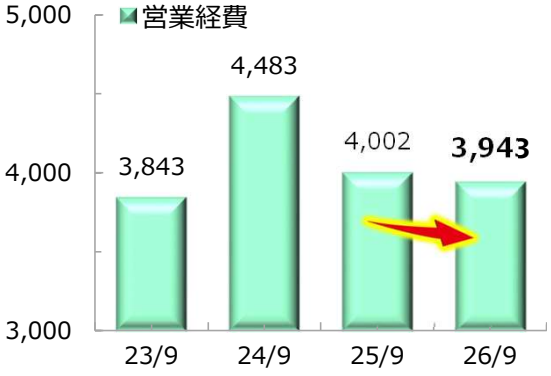
○ 営業経費は減少し、資金利益の増加が収益拡大を牽引したため、本業収益、中間純利益はともに前年を大きく上回った



・ 貸出残高の増加および政策金利上昇により、貸出金利息が増加



・ 主に投資信託の販売が好調に推移し、受入手数料は増加



・ 物件費や人件費の減少により営業経費は減少

【無断転載禁止】

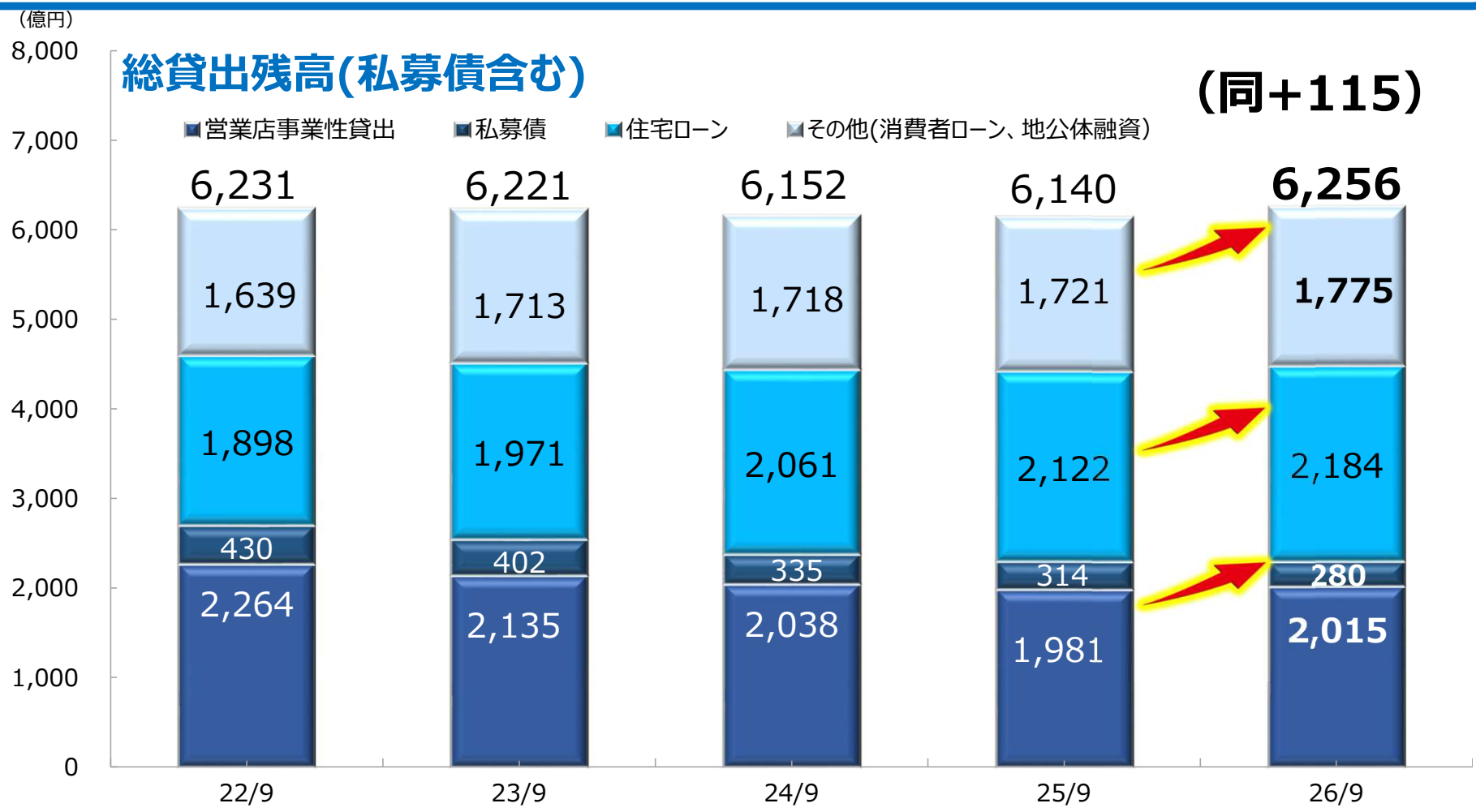
1.決算トピックス（総貸出残高<私募債含む>）

福島銀行

総貸出残高(私募債含む)は、6,256億円(前年同期比＋115億円増加)

- 営業店事業性貸出残高は2,015億円と、同+33億円の増加
- 住宅ローンはローンプラザを中心に推進し、過去最高の2,184億円と同+62億円増加

⇒ 営業店事業性貸出や営業店に併設されたローンプラザによる住宅ローンなど地元向けの貸出を中心に増加



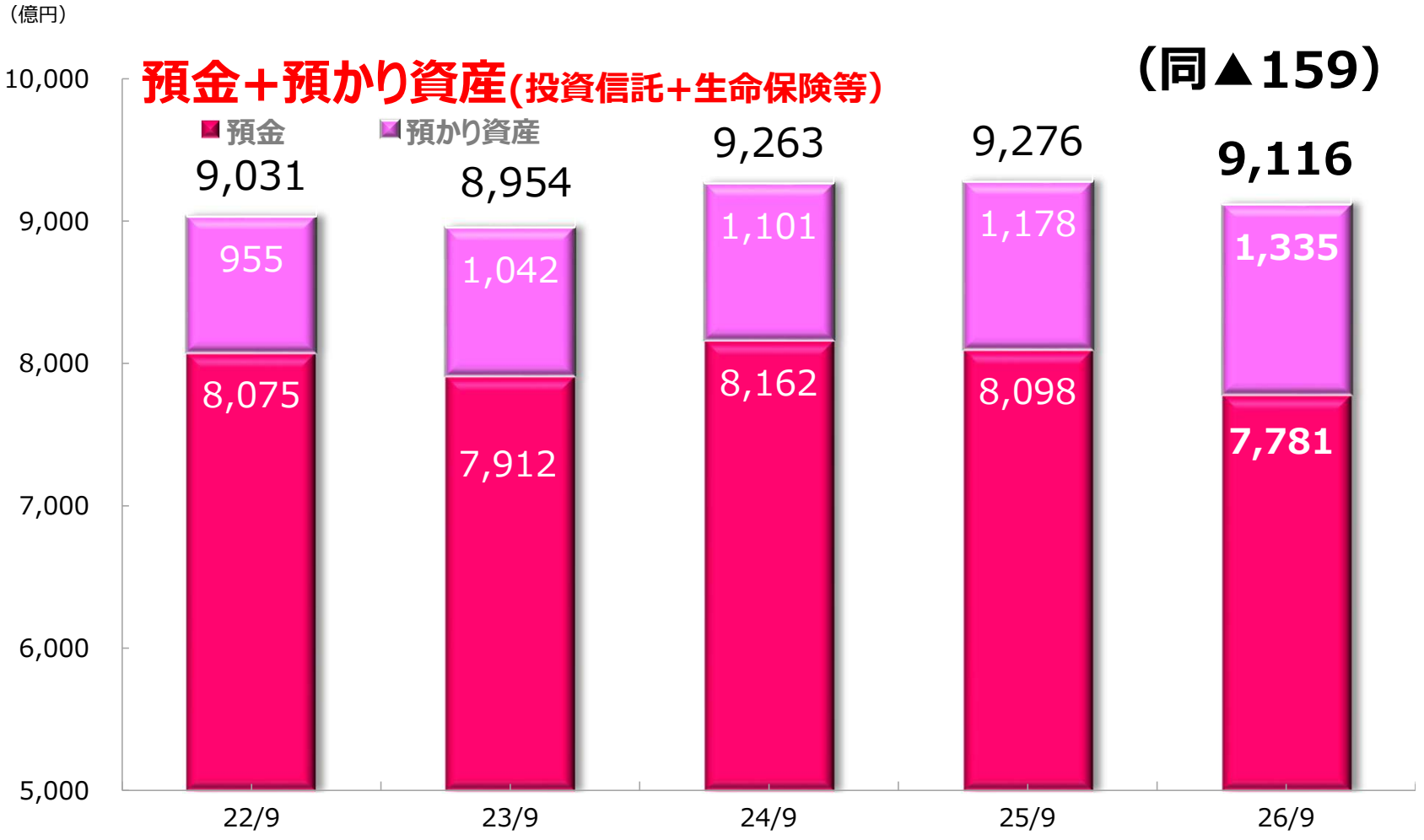
【無断転載禁止】

1.決算トピックス（総預かり資産）

福島銀行

総預かり資産(預金+預かり資産)の残高は、9,116億円(同▲159億円減少)

- 総預金は7,781億円と、高金利の入札を控えたため、地公体預金の減少を主因に同▲316億円の減少
- 預かり資産残高は順調に推移し、1,335億円と同+156億円の増加 過去10年で最高額に



【無断転載禁止】

2. 決算の概要

2.決算の概要（2026年9月期の実績）

福島銀行

単　体

（百万円）

		26/9	25/9	前年同期比
1	経常収益（①+⑦）	7,077	6,065	1,011
2	業務収益①	7,003	5,958	1,045
3	貸出金利息	4,687	3,951	735
4	有価証券利息配当金㋐	750	542	207
5	(A)投信解約益	254	-	254
6	受入手数料等	1,423	1,331	91
7	国債等債券売却益②㋑	–	–	–
8	業務費用③	6,283	5,596	686
9	預金利息	1,357	888	468
10	一般貸倒引当金繰入④	54	13	41
11	国債等債券売却損･償還損･償却⑤㋒	225	1	223
12	営業経費	3,943	4,002	▲58
13	人件費	1,703	1,732	▲29
14	物件費	1,952	1,977	▲25
15	業務純益⑥（①-③（金銭の信託見合費用除く））	721	362	358
16	(B)コア業務純益｛⑥-（②-⑤）+④｝	1,000	377	623
17	**本業収益**（投信解約損益除くコア業務純益）(B)-(A)	745	377	368
18	臨時収益⑦	73	107	▲33
19	株式等売却益㋓	-	0	▲0
20	償却債権取立益	9	27	▲17
21	臨時費用⑧	373	285	88
22	個別引当金繰入額	316	211	104
23	株式等売却損･償却㋔	0	0	▲0
24	臨時損益⑨（⑦-⑧）	▲301	▲178	▲123
25	経常利益（⑥+⑨）	419	183	235
26	特別損益	4	44	▲40
27	法人税等	▲43	▲17	▲26
28	中間純利益	467	245	222
29	不良債権処理費用	370	224	145
30	有価証券関係損益（㋐+㋑-㋒+㋓-㋔）	524	540	▲15

26年9月期　損益状況

26年9月期は増収増益
貸出金利息や有価証券利息配当金、受入手数料等の増加、営業経費の減少などにより黒字決算

- **業務収益は7,003百万円。前年同期比+1,045百万円の増収**
  - 貸出金利息は、貸出金平残の増加および貸出金利回りの上昇により、同＋735百万
  - 有価証券利息配当金は有価証券利回りの上昇を主因に、同＋207百万円
  - 受入手数料等は、主に投信窓販手数料の増加などにより、同+91百万円
- **業務費用は6,283百万円と、同+686百万円の増加**
  - 預金利息は、預金利回りが上昇した結果、同+468百万円
  - 営業経費は、人件費、物件費の減少により同▲58百万円
- **コア業務純益は1,000百万円（同+623百万円）、本業収益は745百万円(同+368百万円)とともに大幅な増益**
- **臨時損益は同▲123百万円となり経常利益は同＋235百万円**
- **預金利息や不良債権処理費用が増加したものの、貸出金利息や有価証券配当金、受入手数料などが増加したため、中間純利益は467百万円（同+222百万円）と増益となった**

【無断転載禁止】

2.決算の概要（貸出<私募債含む>）

福島銀行

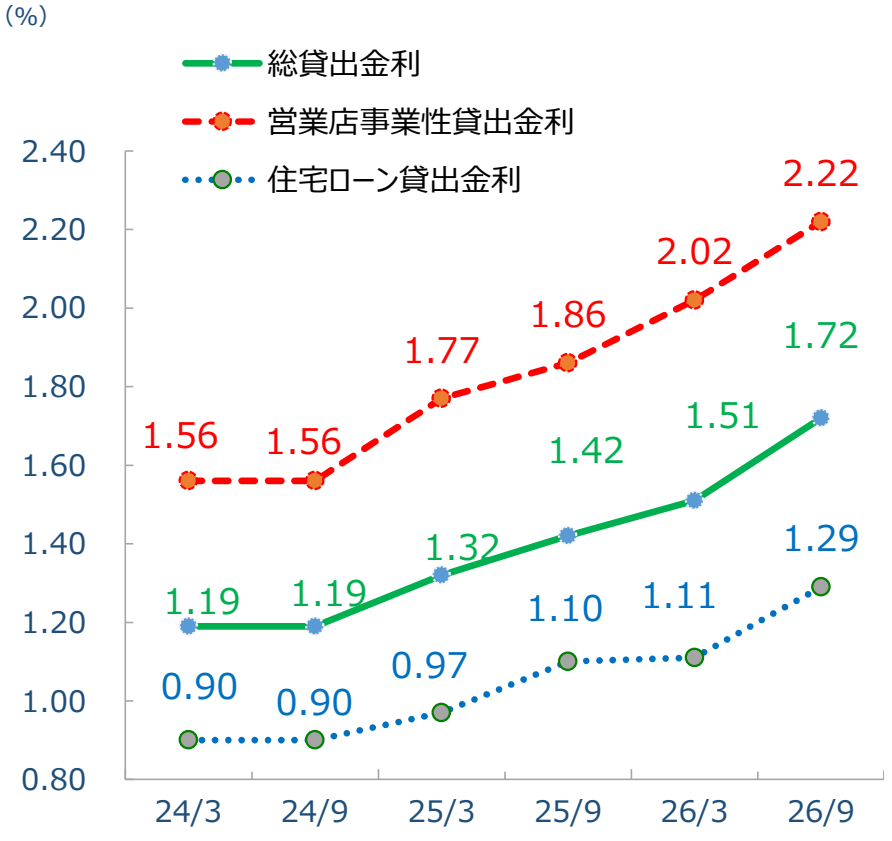
- 貸出残高（私募債含む）は、6,256億円。前年同期比+115億円の増加
  - ・事業性貸出（私募債含む）については、営業店事業性貸出が同＋33億円増加するも、私募債、本部貸の減少により同▲3億円の減少
  - ・消費性貸出については、住宅ローンが好調に推移し、同+46億円の増加
- 貸出平均約定金利は、営業店事業性貸出、住宅ローン貸出金利ともに上昇し1.72%（同＋0.21%）

貸出　残高推移

（億円）

	23/9	24/9	25/9	26/9	前年同期比
事業性	2,958	2,795	2,688	**2,684**	▲3
営業店	2,135	2,038	1,981	**2,015**	33
私募債	402	335	314	**280**	▲33
本　部	420	420	392	**389**	▲3
消費性	2,242	2,319	2,370	**2,416**	46
住宅ローン	1,971	2,061	2,122	**2,184**	62
消費者ローン	225	214	207	**194**	▲12
消費性その他	45	43	40	**37**	▲3
地公体	938	958	1,002	**1,074**	72
その他	81	80	80	**80**	-
合　計	6,221	6,152	6,140	**6,256**	115
平　残	6,218	6,156	6,056	**6,165**	108

貸出平均約定金利



【無断転載禁止】

2.決算の概要（預金<NCD含む>・預かり資産）

福島銀行

- 預金と預かり資産を合わせた総預かり資産残高は、前年同期比▲159億円減少し、9,116億円
  - うち預金残高は、同▲316億円減少し、7,781億円。預かり資産残高は、同+156億円増加し、1,335億円
  - 預金残高は、26年3月期比+187億円、26年6月期比+33億円。預金減少には歯止めがかかり、増加に転じた
- 預かり資産の販売額は、投信販売額が同+77億円増加、保険は同▲0億円の減少
- 預かり資産の販売手数料は、主に投資信託の販売額増加により同+1.9億円増加し、7.3億円
  - 投資信託販売手数料等は同＋2.0億円増加し、5.0億円。上期として過去10年で最高となった

預金＋預かり資産の残高推移

（億円）

	23/9	24/9	25/9	26/9	前年同期比	（参考）26/3月比
預　金	7,912	8,162	8,098	**7,781**	▲316	187
個　人	4,947	4,914	4,899	**4,829**	▲69	▲26
法　人	2,083	2,079	2,100	**2,058**	▲42	182
地公体他	882	1,168	1,098	**893**	▲204	30
預かり資産	1,042	1,101	1,178	**1,335**	156	114
投　信	412	450	487	**598**	111	79
保　険	608	628	665	**702**	37	28
公共債	20	22	25	**33**	8	5
合　計	8,954	9,263	9,276	**9,116**	▲159	301

預かり資産　販売額推移

（億円）

	24/上期	24/下期	25/上期	25/下期	26/上期	前年同期比
投　信	115	92	87	159	**164**	77
保　険	59	45	60	79	**59**	▲0
公共債	3	2	3	5	**7**	3
合　計	179	140	151	244	**231**	80

預かり資産　販売手数料推移

（※SBIマネープラザ手数料を含む）

（億円）

	24/上期	24/下期	25/上期	25/下期	26/上期	前年同期比
合　計	6.5	4.9	5.4	7.5	**7.3**	1.9

【無断転載禁止】

2.決算の概要（有価証券）

福島銀行

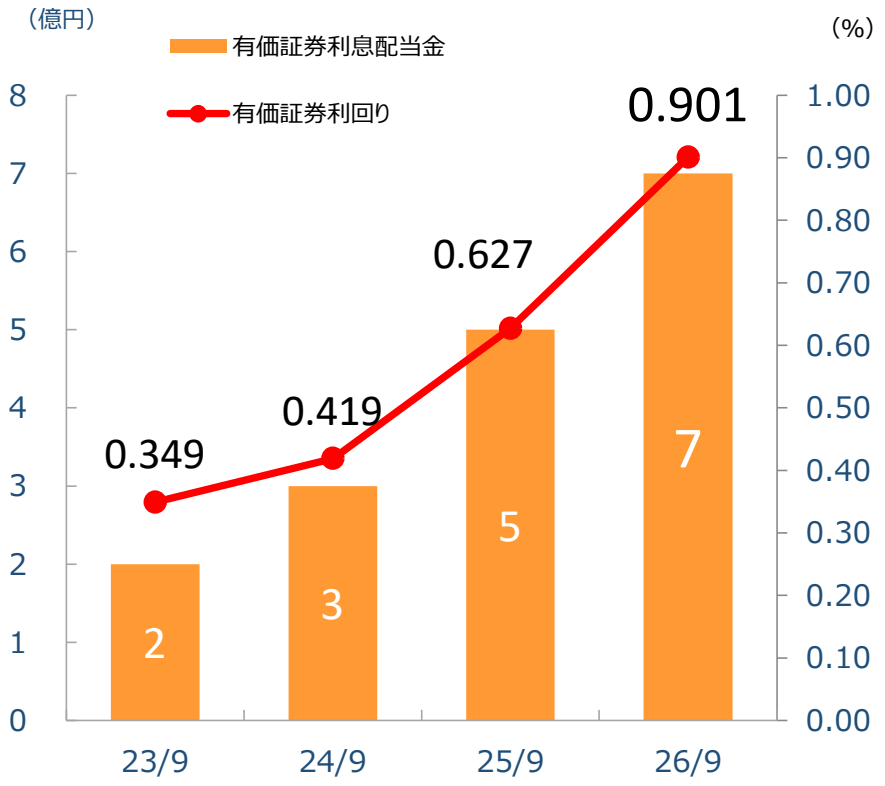
- 有価証券の残高は1,478億円（前年同期比▲185億円の減少）
  - 債券中心のインカム運用方針を継続
- 有価証券の評価損益は▲84億円（同▲４億円の悪化）
  - 国内金利の上昇を受け、日銀の追加利上げ観測を背景とした国内金利上昇により評価損が拡大
  - SBIグループと引き続き連携し、有価証券ポートフォリオの見直しを進め、評価損の拡大を抑えていく
- 債券のデュレーションは6.3年（同▲1.3年の短期化）
- 有価証券利回りは0.901%（同0.2%の上昇）

有価証券　残高推移

（億円）

	23/9	24/9	25/9	26/9	前年同期比
債　券	869	864	977	**943**	▲33
国内債	857	859	973	**941**	▲31
外国債	11	4	4	**2**	▲2
投資信託	616	627	627	**461**	▲165
外債型	616	623	617	**437**	▲178
株式型	–	–	–	**0**	0
その他	–	4	9	**23**	13
株　式	18	18	22	**36**	14
そ の 他	31	37	36	**36**	0
合　計	1,536	1,547	1,663	**1,478**	▲185
保有有価証券の評価損益	▲77	▲73	▲80	**▲84**	▲4
債券のﾃﾞｭﾚｰｼｮﾝ（年）	8.9	8.3	7.6	**6.3**	▲1.3

有価証券利息配当金と有価証券利回り



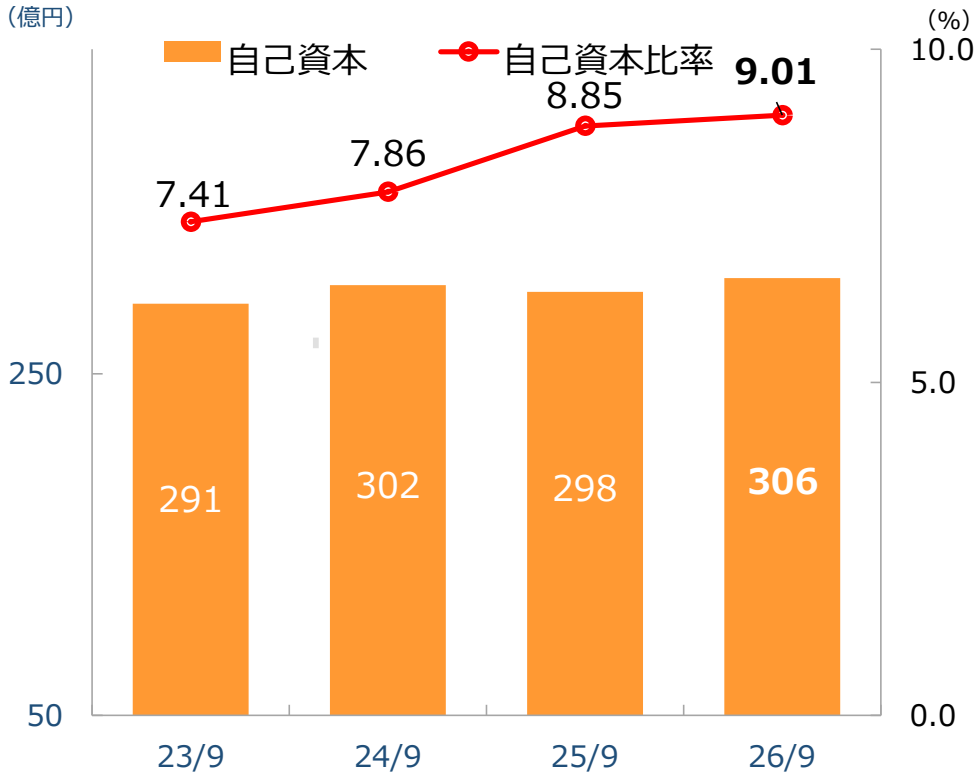
【無断転載禁止】

2.決算の概要（健全性）

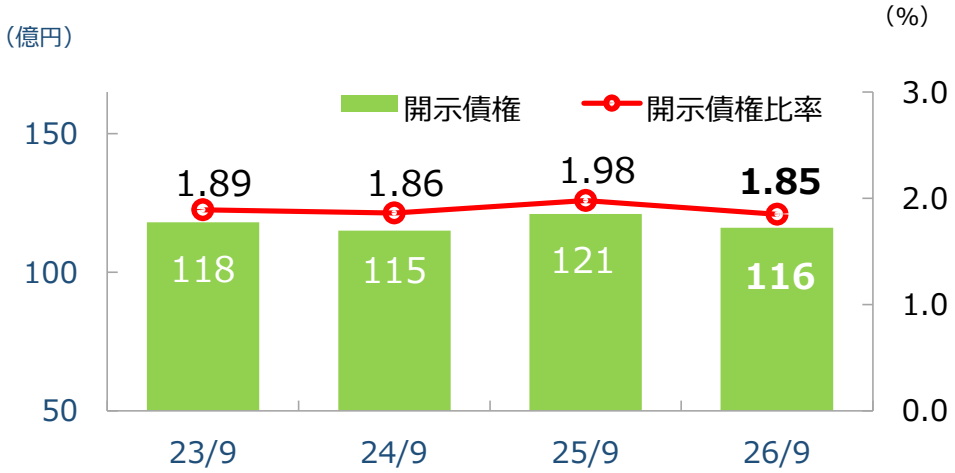
福島銀行

- 自己資本比率は、利益の積み上げにより 9.01%（前年同期比+0.16%）と、
  国内基準（4%以上）を上回る水準を維持。連結自己資本比率は 9.43%（同＋0.17%）
- 金融再生法開示債権は、116億円（同▲5.5億円）
  金融再生法開示債権比率は、1.85%（同▲0.13%）と低水準を維持
- 与信関連費用は、3.7億円（同+1.4億円の増加）

自己資本比率



金融再生法開示債権比率



与信関連費用

（※）一般貸倒引当金繰入額＋個別貸倒引当金繰入額
＋貸出金償却等－貸倒引当金戻入額

（億円）

23/9	24/9	25/9	26/9	前年同期比
1.3	2.0	2.2	**3.7**	1.4

【無断転載禁止】

2.決算の予想および今後の見通し

福島銀行

- 2026年10月28日に2026年9月期の業績予想を上方修正いたしました。
- 2026年度（2027年3月期）は、8億円程度の当期純利益を見込んでおります。
- 2026年度（2027年3月期）の配当は、1株あたり 5円 を予定しています。

2026年度（2027年3月期）決算予想

（億円）

		25/9月期 実績	26/3月期 実績	26/9月期 実績	27/3月期 予想
単体	経常収益	60	127	70	**140**
	経常利益	1	6	4	**10**
	当期純利益/中間純利益	2	7	4	**8**
連結	経常収益	71	151	83	**166**
	経常利益	1	6	4	**11**
	親会社株主に帰属する当期純利益/中間純利益	1	7	4	**9**

【無断転載禁止】

3. SHINふくぎん 中期経営計画

福島銀行

SHINふくぎん 中期経営計画
(2024年4月～2029年3月)

基本方針

「デジタル」のチカラで「リアル」の力を最大化

基本戦略

DX（デジタル）

次世代バンキングシステムを最大限に活用し、徹底的に業務の**DX化（デジタル）**を図ります
リテールビジネスは**スマホで完結。**
お客さま利便性の向上を目指します

対面営業（リアル）

事務量の半減により、**本部から営業店へ、店頭から渉外へ**人員を再配置します
対面（リアル）での**「事業者支援」**と**「資産形成支援」**に人的資源を集中します

人材開発

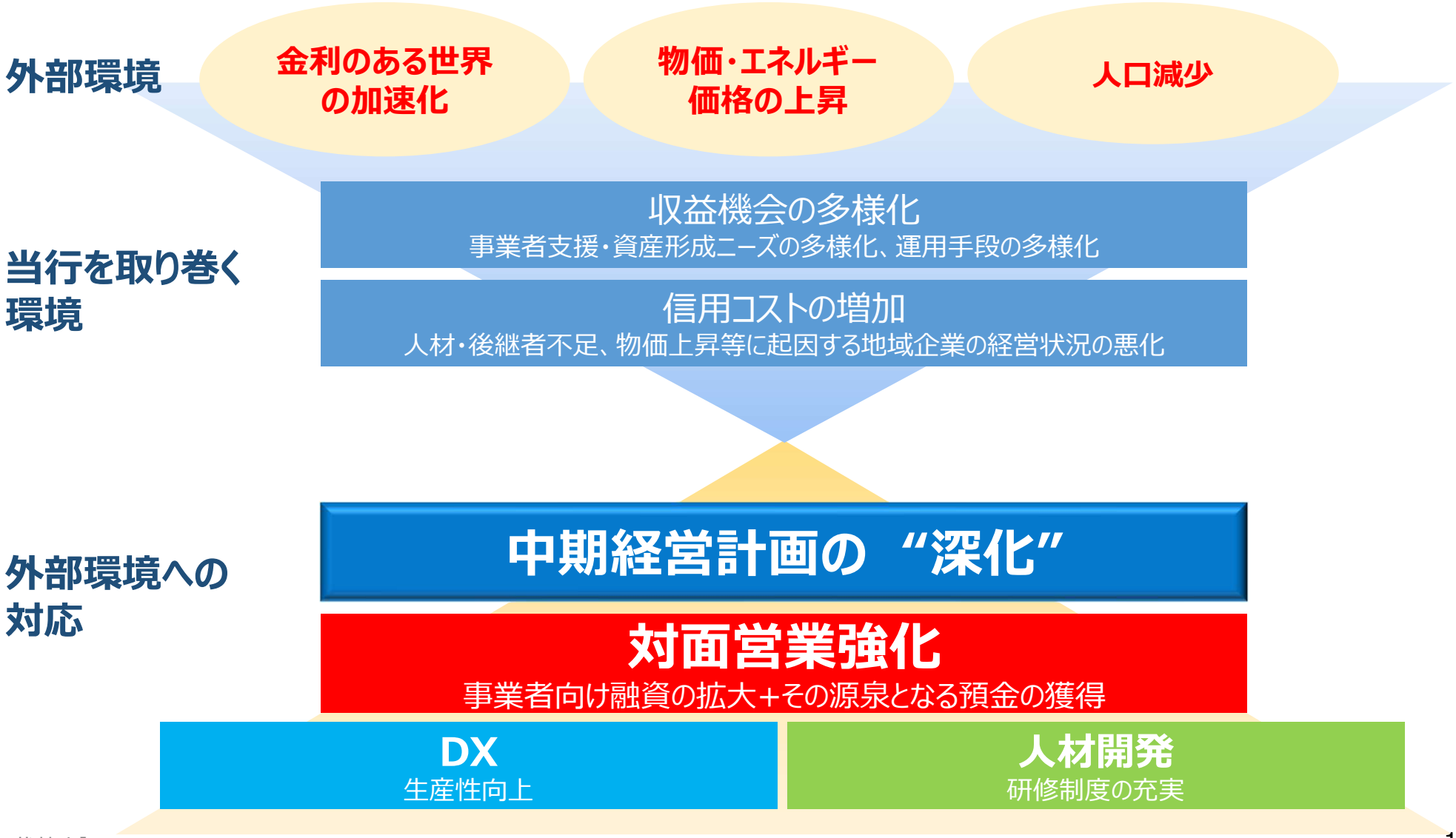
エリアでの営業体制を構築し、人材育成に注力します。
対面営業の**質的・量的向上**を目指し、**コンサルティング力**に優れた人材の育成を図ります

【無断転載禁止】

3.SHINふくぎん 中期経営計画【外部環境への対応】

福島銀行

■ **加速化する外部環境の変化に対応するため、中期経営計画の“深化”を図り、対面営業を強化することで、金融仲介機能を最大限に発揮することを目指す**



【無断転載禁止】

2026年度テーマ

中期経営計画の実効性向上を図り、
お客さまの課題解決を通じた金融仲介機能の更なる発揮を目指す

2026年度 中期経営計画 基本戦略の“深化”
預金の獲得 ⇒ 地元向け融資の拡大

対面営業(リアル)	DX(デジタル)	人材開発
営業活動の高度化	FutureBANK、生成AI等を活用した業務効率化	研修の更なる充実

2026年度(3年目)は、中期経営計画を“深化”させ、
社員一人あたりの生産性の向上を図る

＝ 営業活動の
- 「質」的向上 － 営業情報やAIの活用等による提案の質を高める
- 「量」的向上 － お客さまとの接点増加

【無断転載禁止】

福島銀行

対面営業

AI活用で提案の質向上

対面営業の強化

「質」の向上　これまでの取り組み

・融資業務をサポートするAIエージェントを作成　→　**SBI出向経験者を中心に当行内で作成**

融資知識の補完　×　**情報収集の効率化**　＝　**よりお客さまに寄り添った提案！**

・AIの活用のみに留まらず、行員自身の融資知識と提案力の向上に継続して取り組む

※ AIエージェント：目的や参照情報をあらかじめ設定し、特定の業務を支援する仕組み

YUSHI-SENPAI

融資経験の浅い行員のサポート

融資の必要書類や稟議書作成のポイントを確認

例）「既存の建設業の顧客から運転資金の相談があった。必要書類は？」

➡ 融資実務への理解を深めるサポートに！

業界リサーチエージェント

情報収集の効率化 事前準備の充実

業界概要、業界動向や課題等を生成AIが整理して出力する業界調査支援ツール

例）「福島県の運送業界の動向と課題について調査して」

➡情報収集、お客さまとの会話のきっかけづくりに！

今後の施策

新しいAIエージェントの追加：顧客支援の好事例が簡単に検索可能に

→ 好事例の活用によって、課題把握力や提案力を向上

【無断転載禁止】

福島銀行

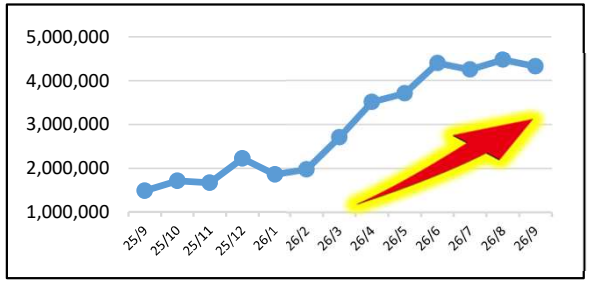
対面営業

業務効率化でお客様接点の増加

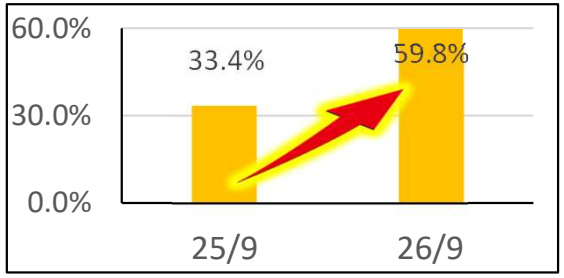
対面営業の強化

「量」の向上　これまでの取り組み

- **アプリ商品の拡充**および**リニューアル** →**アプリ取引の処理件数**が増加
- 店頭窓口における**タブレット完結率**が上昇



アプリ取引処理件数



店頭　タブレット完結率

アプリ取引処理件数増加 ✖ タブレット完結率上昇 ＝ 事務の効率化

➡ **相談業務の時間創出！**

今後の施策

・アップワードの導入（2027年1月予定）
:営業支援ツールの導入で、さらなる渉外活動の効率化を図る
→ **事業者支援先数の増加により、顧客基盤の拡大を目指す**

【無断転載禁止】

福島銀行

事業承継

ふくぎん地域活性化投資による事業承継支援 第1号案件 実行！

株主として後継者の育成と財務改善に伴走し、事業承継を支援

- 株式の一部を投資専門子会社が取得　株主としてより企業に近い立場から経営に伴走

後継者への円滑な事業承継 ✖ 企業価値の向上支援 ＝ 地元事業者の後継者不足解決

➤ 第1号案件の内容

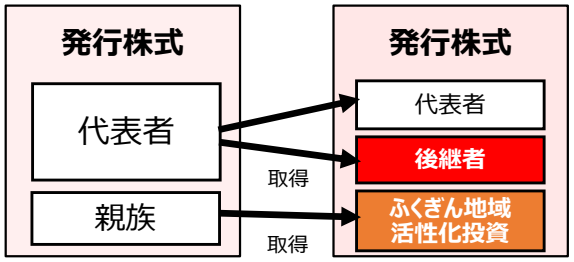
企業の課題

- 親族内に後継者不在
  → 同社の役員を後継者にすることを想定（**5年後**の承継を検討）
- 後継者は**資金繰り管理や金融機関取引**に課題

→ 事業承継支援、後継者育成のニーズあり

投資内容

- 代表者の親族が保有する株式
  → **ふくぎん地域活性化投資が取得**



投資実行後の支援

- 承継時期に合わせて5年間、株主として**より近い立場で経営を支援！**
  - 財務内容の改善
  - 資金繰り表の作成支援 など

5年後は……
後継者に株式を集約！

【無断転載禁止】

福島銀行

預金施策

新商品開発 スピードUP

お客さまにより寄り添った資産形成支援！

次世代バンキングシステムを活用したこれまでの取り組み

・商品開発期間の短縮
システム更改により、新商品開発のスピードが加速　旧システム対比　**約6か月→約1か月に**

さまざまなニーズや環境の変化に対応した新商品をスピーディに開発・販売
→　お客さまに寄り添った資産形成支援を可能に



2026/8
リニューアル



2026/8
発売



2026/8
発売



2026/9
発売



2026/11
発売

今後の施策

・お客さまのニーズに応じた預金商品の迅速な提供
・対面営業（リアル）とアプリ・法人IB（デジタル）を通じた提案活動の強化
→ 金利上昇やお客さまのニーズの多様化に迅速に対応した商品の充実

【無断転載禁止】

3.SHINふくぎん 中期経営計画【DX】

福島銀行

アプリアップデート

お客さまの利便性向上！
ふくぎんアプリのさらなる進化！

■ ふくぎんアプリは続々と機能を追加し、ますます便利に！

「ふくぎんアプリ」
リニューアル
（24/7）

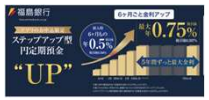


2024年4月

SHINふくぎん
中期経営計画
スタート

スマホATM機能追加
（24/11）





アプリ専用定期預金
「UP」発売（24/10）

2024年

「ふくぎんアプリ」
アップデート（25/9）





アプリ専用定期
「ガソリン券でホッと
定期預金」(25/12)

2025年

**ふくぎんステージUP
プログラム
アップデート
（26/8）**



2026年～



「ステップアップ型
円定期預金プラス」
（愛称：＃あいちゃんプラス）
(26/2)

**お客さまの
利便性向上**

**目的別口座
アップデート
（26/8）**



【無断転載禁止】

福島銀行

アプリアップデート
優遇プログラム

さらに「お得」で「便利」に！

ステージUPプログラム アップデート！

ステージUPプログラム 優遇条件改定（26/8）

○ お客さまのライフスタイルに合わせて、 お客さま自身が下記から
“手数料0円”にするものを選んで使える**優遇プログラム**

・他行宛振込　・当行ATM時間外手数料
・コンビニATM手数料（スマホATMも含む）
・ゆうちょ銀行ATM手数料

○ お客さまのご利用状況に応じて優遇ステージが適用
8月より、ステージ判定の項目を追加！

プラチナ(月5回まで無料) → **預金残高100万円以上**
ダイヤモンド（月10回まで無料） → **預金残高300万円以上**



優遇対象のお客さまが拡大！
より「お得」で「便利」に当行をご利用いただけるように！

【無断転載禁止】

福島銀行

アプリアップデート
目的別口座

さらに「お得」で「便利」に！
目的別口座 アップデート！

目的別口座 商品内容の見直し（26/8）

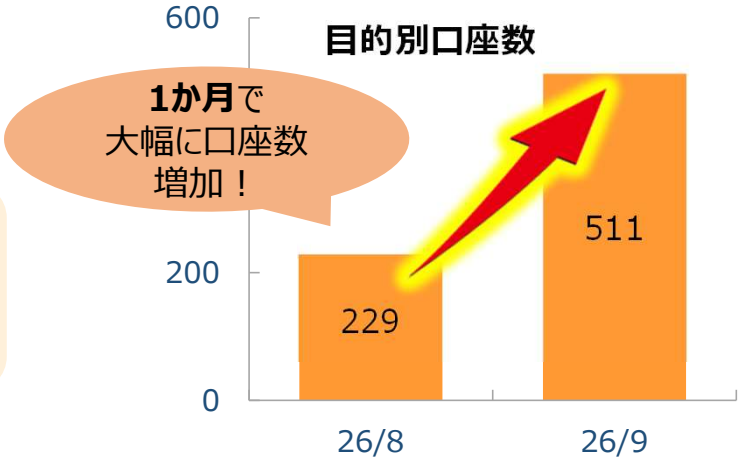
- ○ 目的別口座は、「マイカー」「旅行」「推し活」など、**目的に合わせて管理できる口座**
- ○ お客さまの貯蓄目的に合わせて**最大10口座**まで作成可能！
  毎月の積立額、目標金額、期間、口座名は自由に設定可能
- ○ 達成状況がアプリ上で一目でわかり、
  毎月決まった日に設定された金額を自動積み立て！



11/4よりTVCMスタート！

金利の見直し → **預入期間に応じて金利を上乗せ**
積立期間の見直し → **5年から最長10年へ**

○ 11月からは最大金利を引上げ！



より長期の資産形成ニーズにお応えできる商品に進化！
→ リニューアル後から口座数が大幅に増加

今後もアプリ機能のアップデートや新商品の発売を継続！

【無断転載禁止】

福島銀行

研修の継続・強化

お客さまに寄り添える人材の育成！

営業現場での活躍に

人材開発　これまでの取り組み

・事業者支援、資産形成支援ともに研修を充実し、**継続的な営業社員の育成を推進**

→　**お客さまのストーリーに基づいた提案ができる行員の育成**

事業者支援

・**事業性融資ステップアップ研修**

事業性融資の拡大、中核人材の育成

第1期（4月～9月）全6回

→ 12名が修了　**全員が事業承継案件を発掘**

第2期（10月～翌3月）　10名が研修をスタート！

・**事業性融資実践ラボ**

法人営業の基礎づくりに特化した研修

第3期がスタート！

資産形成支援

・**マンツーマン研修**

外部講師との1対1の研修で、社員別の課題に対応

上期 累計672回　研修実施！

研修内容を預かり資産の営業に活用

・**リテール社員研修**

→　資産形成支援の基礎～実践まで

若手を中心に継続的に実施



今後の施策

・各営業店の若手と法人・個人CAとの同行を継続

・提案力をはじめとした研修の継続

→　**地元の事業性融資と個人の資産形成支援を強化！**

【無断転載禁止】

福島銀行

「中期経営計画」の実効性UP！本部組織の改正

DX推進＋お客さま利便性向上＋資金運用の高度化

「本部組織改正」のおもな内容（2026年6月改正）

①「リスク統括部」の新設

・リスク管理の高度化、リスクとリターンの最適化
→「金利のある世界」に対応するため、ALM機能、有価証券運用におけるリスク管理機能を集約
⇒**有価証券評価損の拡大を適切にコントロールし抑制**

その他有価証券評価損益推移

2026年3月期	▲89億円
2026年6月期	▲86億円
2026年9月期	▲84億円

②「市場営業課」を営業統括部へ移管

・資金収益機能の一体運用
→ 預金利益、市場運用を含む「資金利益増加」を図る

③「DX課」を事務・システム部へ移管

・次世代バンキングシステムとふくぎんアプリの活用促進
→ お客さま利便性向上と業務効率化の加速化

※ALM＝預金などで調達した資金と、貸出金・有価証券などで運用する資産を一体的に管理すること

【無断転載禁止】

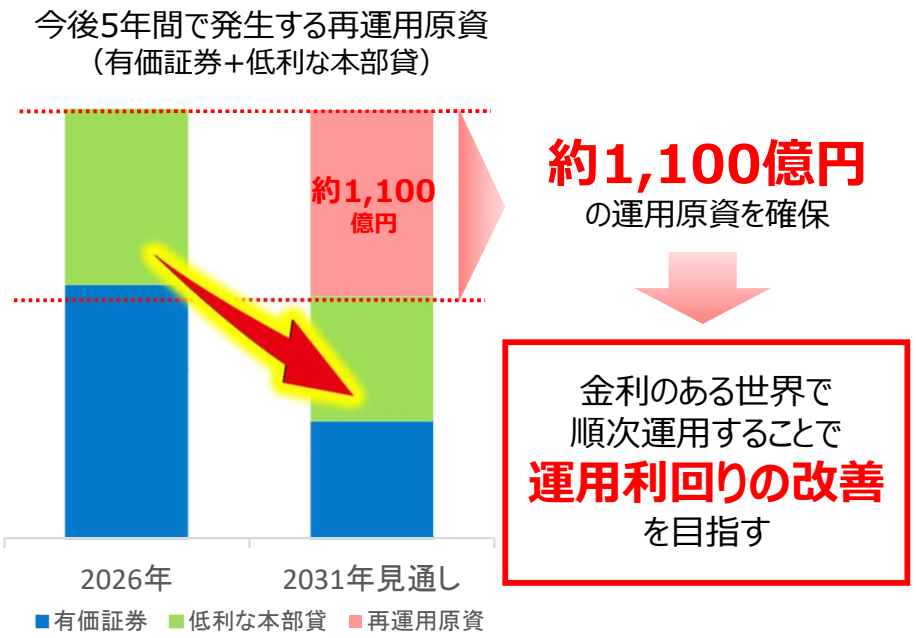
3.SHINふくぎん 中期経営計画【運用の見通し】

福島銀行

今後5年程度の運用見通し

- **超低金利時代の有価証券や本部貸の償還等により、約1,100億円の再運用原資を確保**
- **再運用原資を金利のある世界で運用することで、運用収益の拡大を目指す**
- **有価証券の償還・デュレーション短期化等により、その他有価証券評価損益は約50%改善**

低利回り資産の入替による運用収益の拡大



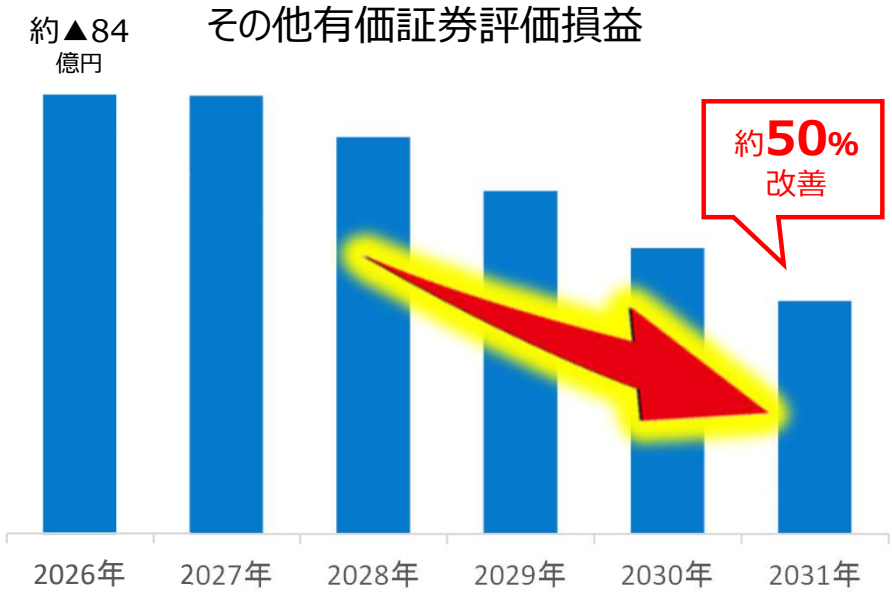
約1,100億円
の運用原資を確保

金利のある世界で
順次運用することで
運用利回りの改善
を目指す

5年以内に入替を想定する資産の平均利回り

低利な本部貸	0.2%程度	有価証券	0.3%程度

その他有価証券評価損益の改善見通し



有価証券の残高の減少とデュレーションの短期化等により
その他有価証券の評価損益は**段階的に改善**する見通し

※ 一定の定義に基づき当行においてシミュレーションしたものです。 市場環境の変化等により見通しが変更となる可能性があります

【無断転載禁止】

福島銀行

2026年度(2027年3月期)数値目標

項目	2027年3月期
当期純利益	**８億円以上**

金融仲介機能の発揮	
事業者支援先数	**6,300先**
資産形成先数	**38,300先**

「デジタル」×「リアル」の両立で
「最も相談しやすい金融機関」を目指す

【無断転載禁止】

4. SBIとの連携

福島銀行

SBI新生銀行との連携

専門的知見を活用したALM・リスク管理の高度化

○ 2026年6月30日にSBI新生銀行がSBI地銀ホールディングスが保有する当行株式を取得

・ SBI新生銀行の専門的知見・ノウハウの活用

→ **ALMや市場運用、リスク管理などの分野における連携を一層強化!**

・ 当行の地域金融機関としての強みを活かしつつ、外部の高度な専門性を取り入れる

→ **経営管理の高度化と持続的な企業価値向上へ！**

協調融資の実施（2026/10）

福島県内の物件開発資金にかかる資金を、SBI新生銀行と当行が連携して実行

SBIグループとの連携強化により、金融仲介機能を強化し、
多様な金融商品・サービスの提供を通じて地域の課題解決を目指します！

【無断転載禁止】

福島銀行

職域ビジネス

ふくぎん　DCセミナー

県内7地区で第2回 ふくぎん「DCセミナー」開催！

好評いただいた第1回目に引き続き、7月～8月にかけて第2弾を開催
SBIネオファイナンシャルサービシーズ株式会社より講師を招き、
企業型DCの仕組みや導入効果、税制メリットなどを解説しました

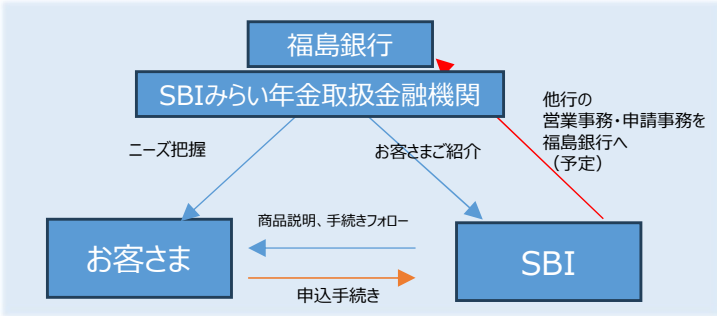






SBIみらい年金について

・SBIが提供する全国でプラットフォームを統一した
　企業型確定拠出年金
・9月より、営業事務の委託がスタート
　SBIグループ出向経験者を中心に推進
　現在5名出向中
　申請事務については来年度からの契約を目指す



【無断転載禁止】

5. 地域を元気にする取組み

福島銀行

第15回　障がい者施設製品大展示即売会

▶ 11月27日（金）、28日（土）の2日間 開催予定！



- **2012年の第1回から通算15回目の開催！**
  - 福島県内外の授産施設が出店し、小物や食品などを展示・販売します
  - 農業と福祉の連携コーナーや、革刻印、レジンキーホルダーの制作体験コーナーも見どころです

<2025年開催時の様子>



【無断転載禁止】

5.地域を元気にする取組み（ラジオ番組）

福島銀行

ラジオ福島「ふくぎんラジオ」

10/7からラジオ番組がスタート！全6回　隔週水曜日　17:20～5分間







地域の金融リテラシー向上に向けた情報発信

・ラジオ番組**「ふくぎんラジオ」**を通じ、**地域の皆さまの暮らしに役立つ金融情報**を、若手・中堅行員が中心となって分かりやすく発信しています

・**金融への理解・関心を深め、地域の皆さまの金融リテラシーの向上に寄与することを**目指しています

【無断転載禁止】

福島銀行

各地のお祭りに参加しました！

▶ 地域貢献・地域活性化のため、積極的に参加しております



福島わらじまつり



郡山うねめまつり



川俣からりこフェスタ



本宮市夏まつり みずいろ盆踊り





いわきおどり



蔵のまち喜多方夏まつり



会津まつり



白河関まつり

【無断転載禁止】

福島銀行

クラウドファンディングで地域を元気に！

▶ 地域のお客さまの資金調達や対外的なプロモーション等の課題解決に取り組んでおります

【福島県郡山市で創業155年】の伝統と極上の辛口酒『雪小町』、危機からの脱出！









- 郡山市で創業155年を迎えた渡辺酒造本店のクラウドファンディング組成を支援
- 酒米の価格高騰などを背景に、 伝統ある日本酒「雪小町」を未来へつなぐプロジェクトとして実施されました

実　行　者	有限会社渡辺酒造本店
目標金額	500,000円
募集期間	2026年7月10日～2026年8月31日

目標達成！
実績：1,067,000円
（目標対比 213%）

【無断転載禁止】

当行のプロフィール

福島銀行

【2026年9月末現在】

本社所在地	福島県福島市万世町2番5号
電話番号	024-525-2525（代表）
設立年月日	1922（大正11）年11月27日
資本金	196億円
株主数	17,250名
従業員数	554名（うち正社員408名）
店舗数	57店舗（5出張所、3ﾛｰﾝﾌﾟﾗｻﾞ、1ﾈｯﾄ支店含む）
預金残高	7,781億円
預かり資産	1,335億円
貸出金残高	6,256億円（私募債含む）
自己資本比率	9.01%（単体）、9.43%（連結）
金融再生法開示債権比率	1.85%
連結子会社	㈱ふくぎんリース＆クレジット ㈱東北バンキングシステムズ ㈱ふくぎん地域活性化投資

（お問い合わせ先） 株式会社福島銀行 総合企画部 小野寺好孝、金成洋輔 TEL：024(525)2525 FAX：024(536)5338

本資料には、将来の業績および計画等に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績に影響を与える不確実な要因によって将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。また、事業戦略や業績など、将来の見通しに関する事項には、一定のリスクや不確実性等が含まれております。

【無断転載禁止】